

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和7年3月31日

米子市議会議長様

（会派の場合）

会派名 蒼生会

代表者氏名 稲田 清 (印)

提出者氏名 奥岩 浩基 (印)

（議員の場合）

議員名

(印)

下記のとおり報告します。

記

項 目	☐ 現地調査 ☒ 研修会への参加	☐ 行政視察 ☐ 会議への参加	☐ 要請・陳情活動
参 加 者	奥岩 浩基		
期 日	令和7年3月27日から 令和7年3月28日まで		
〔概 要〕（年月日・場所・内容） 令和7年3月27日（木）@下関市役所 14:00～15:00：財政健全化について 15:00～16:00：子育て支援策について 令和7年3月28日（金）@J:COMアリーナ下関 10:00～12:00：アリーナ改修事業について			
〔所 感〕 別紙のとおり			
経 費	旅 費 @ 44,345 円× 1 人= 44,345 円 合 計 44,345 円		

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

米子市議会 蒼生会 行政視察報告書（下関市）

1. 視察日時 令和7年3月27日 午後2時より午後4時まで
令和7年3月28日 午前10時より正午まで
2. 視察先 下関市役所 および J:COMアリーナ下関
3. 視察項目 3月27日14時～「財政健全化について」
15時～「子育て支援政策について」
3月28日10時～「アリーナ改修事業について」
4. 下関市について 人口 約24万人（米子市の約1.6倍）
面積 約716.3平方キロメートル（米子市の約5.4倍）

5. 視察内容

①「財政健全化について」

下関市では合併による約10億円の交付税の減少や、公営住宅が多く管理費が嵩むなど、財政面に課題があるなどし、財政健全化プロジェクト計画を策定し平成25年より取り組み、現在Ⅲ期目となる。プロジェクトでは、「下関せんたく会議」により91事業の見直しを実施し、累計で約43億円の財政効果を上げた。特に公用車の一元管理や補助金の廃止、市施設のネーミングライツ導入など、具体的かつ実効性のある取り組みが財政負担の軽減に寄与している。また、令和7年度より新たに「財政マネジメントプラン」を策定し、従来の歳出削減一辺倒から脱却し、「行政機能を充実させながら効率化を図る」ことを柱とする新たな方針へと転換し、令和11年度末までに公共施設維持管理経費を10億円削減し、財政調整基金を80億円に積み増すこと、中期的なプライマリーバランスの黒字維持を目標に掲げていた。この方針の下では、スマートシティの推進や行政DX（デジタルトランスフォーメーション）、ふるさと納税の拡充、未利用財産の処分など多角的な施策が進められている。また、大型建設事業による市債発行の増加も見込まれているが、中期財政見通しを踏まえた計画的な投資管理と特定目的基金の活用により、市債残高を平準化しつつ財政の健全性を維持する方針であった。実際に、直近の財政実績では、税収の回復やふるさと納税による歳入増、ポートレース事業からの繰り入れ拡大などにより、3年連続で単年度黒字を確保している。また、財政調整基金は令和5年度末で72.3億円に達し、市債残高も目標の730億円を下回る666億円まで減少するなどの成果が出ていた。

②「子育て支援政策について」

今回、下関市の子育て支援政策については大きく3つについて伺った。

1. 保育関連支援

令和6年度より、ポートレース基金を財源とし第2子以降の保育料無償化を実施するほか、保育士・保育所支援センター設置し、潜在保育士の再就職支援や現役保育士への相談支援を行っておられた。

2. 妊産婦支援

R5年11月に「しもまちベビータクシー事業」を開始し、妊産婦向けに配車アプリによる24時間対応のタクシー送迎を行っている。4回まで無料で利用が可能となり、約6割の方が利用し、7割の方が満足されていた。

3. こども家庭支援

児童福祉部門担当の保健部と母子保健部門担当のこども未来部との協働、教育委員会の協力において、令和6年に「こども家庭センター」を設置し、切れ目のない支援体制を実施している。しかしな

がら、周知不足によるサービスの提供の少なさや若年層の出産意欲低下への支援等、課題はまだ全て解決出来ているわけではない。

③「アリーナ改修事業について」

下関市総合体育館（J:COM アリーナ）は令和6年8月より供用開始を開始された。米子市が現在準備中の米子アリーナとはほぼ同じ大きさや予算規模、PFI 事業となっている。床面積約 23,000 m²、観客席約 4,500 席、駐車場 600 台、PFI 方式により 15 年間の維持管理での運営となっている。客席や設備には各競技団体の意見を反映が反映され用途毎に使いやすく設定されていた。また、指定管理料は約 23 億円（1.5 億円/年）、ネーミングライツ収入は 770 万円/年であった。しかしながら、昨今の物価高により運営費は増加となっている。営業時間は旧体育館の営業時間を踏襲されていたが、今後の利用状況によっては見直しの可能性もあるとのことであった。大規模イベントや大会時には、公共交通利用推進の案内や隣接中学校グラウンド活用するなど対応されている。また、病院が隣接しているがコンサート等による騒音等の苦情は現在まで無かったということであった。

7. 所感・考察

下関市の財政健全化策としての歳入確保の為のふるさと納税の取り組みは参考になる点があり、2 年連続中国地方 1 位であった米子市としては、毎年同じことをするのではなく、毎年新しい取り組みを続けていかなければと思ひ直す機会となった。

子育て政策に関しては、米子市は県の支援策や市の独自政策、さらには子ども総本部の設置等で全国的に見てもかなり進んでいる状況であるが、下関市のように、さらに保護者や妊産婦さんへの支援が行き届く政策を打ち必要があると感じた。

アリーナ改修事業については、米子市も同じ規模のものを県と協働し建設中であるが、今後の活用方法については、引き続きの各団体との協議の必要性や利用者ニーズに沿った施設運営が出来るよう運営事業者との意見交換も続けていく必要性を再認識させられる視察であった。また、大規模イベント時の騒音に対するクレームが一切無い事などから、普段からの近隣事業者・住民との関係構築についても準備の必要性を感じた。

今回の視察では、下関の政策 3 点について伺わせていただいたが、どれもが今後の米子市の政策の為に参考になるものであった。引き続き、会派内、議会において意見を交わし、米子市にとってより良い政策を実行出来るよう邁進していきたい。

行政視察行程（奧岩議員：研修）

[illegible]

旅費計算表

令和7年3月27日 ～ 令和7年3月28日 (1泊2日)

月 日	区 間	鉄道路線名	運 賃	備 考	急 行 料 金		日 当	宿 泊 料	
					特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
							随 行1,100円	10,900円	9,800円
3/27	伯耆大山駅～岡山駅	JR	8,030	154.3	2,930		1,500		9,350
(木)	岡山駅～新下関駅	JR		355.8		4,900			
3/28	新下関駅～岡山駅	JR	8,030	355.8		4,900	1,500		
(金)	岡山駅～伯耆大山駅	JR		154.3	2,930				
計	議員旅費	44,070	16,060		5,860	9,800	3,000	0	9,350
	随行旅費	0							

出 席 議 員 奥岩議員

議員旅費	44,070 円	×1名＝	44,070 円
取扱手数料	275 円	×1名＝	275 円
合計			44,345 円

山口県下関市

奥岩議員 研修